

令和3年度PTA等指導者人権教育研修会

- 1 趣 旨 「第5次岡山県人権政策推進指針」等を踏まえ、「第3次岡山県人権教育推進プラン」に基づき、様々な人権問題の解決に向けて、人権問題についての理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るための研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。
- 2 主 催 岡山県教育委員会
- 3 日 時 令和3年12月16日（木）9:30～12:00
- 4 会 場 津山リージョンセンター 【オンライン配信あり】
- 5 参加者 幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校のPTA役員及び一般会員 等
- 6 日 程
- 9:00～ 9:30 受 付
- 9:30～ 9:35 開 会
- 9:35～ 9:50 【行政説明】
- 9:50～11:20 【講演・ワークショップ】
「子どもの権利と“たたかない・怒鳴らない”子どもと向き合うヒント」
講 師 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部 プログラムオフィサー 岩井 さくら 氏
西崎 萌 氏
- 11:20～11:30 休 憩
- 11:30～11:50 【感想・情報交流】
- 11:50～12:00 閉 会

【講演・ワークショップ】～【感想・情報交流】

1 体罰等の子どもへの影響

- ・コロナ禍の親子をめぐる状況
- ・体罰等って？子どもへの影響は？

【ワーク①】「体罰等をする、子ども自身や大人との関係にどのような影響があると思いますか？」

2 子どもと向き合うヒント

- ・子どもの権利とは
- ・イライラの理解、子どもに寄り添う、「伝わる」しつけ

【ワーク②】「イライラを抑えるためには、どうしたらいいでしょう？」

3 今日の学びを活かすために ⇒【感想・情報交流】で共有



【講師】 岩井 さくら 氏 西崎 萌 氏



【講演・ワークショップ】多くの資料と具体的な事例を含んだ御講演



【行政説明】「子どもの人権を守るために」



【グループ交流】自身の子育てや子どもへの関わり方、感想等について情報交流



《感想》

- ・体罰としつけは違うもの…頭ではわかっていたつもりでしたが、具体的に話を聞くことができ、改めて理解することができました。評価するのではなく、共感するようにしたいと思います。
- ・ワークショップでは、他の方々の考えや教育等について聞くことができよかったです。親同士で話し合うことが少なくなっていますが、各校でも行い良い交流の機会をもつことで一人一人が考えることにつながると思いました。
- ・他の保護者の方の子育てについて聞き、「自分だけじゃなかったんだ」と改めて知り、ほっとしました。
- ・“たたかない・怒鳴らない”子育てを実行するために、親の心の余裕が必要だなと感じました。自分自身も、気持ちをリフレッシュしたり、たまには誰かに頼ったりしながら子育てをしたいと思っています。
- ・子育ての悩みは尽きませんが、前向きに、日々勉強と思って、子どもと一緒に成長していきたいです。